

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3823007	読書と豊かな人間性	小林達也	✓		2	選択	1後期

科目の概要

本科目は読書が児童生徒の豊かな人間性をはぐくみ、生涯にわたる読書習慣を身に付けさせるために学校図書館を中心に意図的・計画的に行う読書活動について学ぶ科目である。児童生徒への指導者として児童図書に関する豊富な知識が求められるので、読書会など多くの読書活動を実際に行う中で、自らも多くの児童図書を読む習慣を身に付けられるようにする。
 ★司書教諭として学校図書館の読書センター機能をいかした読書指導を学校全体で取り組んだ。本科目では学校司書としてどのように読書活動に取り組むのか、また、国語科の読み物教材をどのように扱うのか、実践的な場面を想定した説明をする。

学修内容	到達目標
① 読書の意義と目的を知る。 ② 子どもの読書環境を理解する。 ③ 子どもの読書活動推進の実際について知る。 ④ 子どもの発達段階とそれに応じた読書指導を認識する。 ⑤ 子どもの本について理解する。 ⑥ 子どもの本を評価する。 ⑦ 子どもと本をつなぐ方法を知る。 ⑧ 個に応じた読書支援の方法を理解する。 ⑨ 学校図書館以外での読書活動について考察する。 ⑩ 学校司書と担任・司書教諭との連携について考察する。	① 読書にはどのような意義や目標があるか述べることができる。 ② 子どもの読書環境を実例を挙げて説明することができる。 ③ 子どもの読書活動推進について教育行政を基に説明することができる。 ④ 子どもの発達段階とそれぞれの段階に応じた読書指導について説明することができる。 ⑤ 子どもの本の読書計画を立て、読むことができる。 ⑥ 子どもの本の評価を読書会を通して発表することができる。 ⑦ 子どもと本をつなぐ方法を知り、実践することができる。 ⑧ 個に応じた読書支援の方法を例を挙げて説明することができる。 ⑨ 学校図書館以外での読書活動について例を挙げるができる。 ⑩ 読書指導における学校司書と司書教諭の役割について説明することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	読書活動の実習で、進んで本を選んだり、意見を発表したりすることができる
	働きかけ力	
	実行力	実習時や課題が出されたとき、前向きに取り組み、決められた時間の中で確実にやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	本を読んだあと、その内容を的確に把握し表現することができる。
	計画力	
	創造力	読書活動で読む本の選書で、自分らしい本を、根拠を持って、選ぶことができる。
チームで働く力	発信力	読書活動で、発表者の発言のあと、その内容に関連して、聞き取りやすい声の大きさやスピードに気を付け、続けて発言することができる。
	傾聴力	講義のときやグループディスカッションのとき、相手をよくみて傾くなどの豊かに反応をしながら聞くことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席せず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。プリントを適宜配付する。
 参考文献：小学校国語教科書

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：学校図書館に関する科目全て
 関連する資格：学校司書

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの本をなるべく多く読むこと。 講義にはスライドを使うので、メモをとること。そのためにも何がポイントであるか、整理する力をつけるように。 読書会、ブックトーク、アニメーション、ビブリオバトルなどの読書活動の実習では、積極的に取り組むこと。 事前に学校図書館概論の科目を履修しておくことよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 座席は指定とする。 6回以上の欠席は0（放棄）判定とする。 欠席の場合は、理由を必ず届けること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①	⑥		
			②	⑦		
			③	⑧		
			④	⑨		
			⑤	⑩		
	平常評価	小テスト	30	①	⑥	10点×3回 授業の復習として、以下のような内容を問うので、簡潔に記述して答えること。 ①児童生徒の発達段階とそれに応じた読書指導のあり方 ②子どもの本・教科書教材の内容や作者 ③児童生徒と本をつなぐ方法 実施する前時に詳しい内容を予告する。
				②	⑦	
				③	⑧	
				④	⑨	
				⑤	⑩	
		レポート	0	①	⑥	
				②	⑦	
				③	⑧	
				④	⑨	
				⑤	⑩	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	⑥	読書会での発表内容やブックトーク、ビブリオバトルなどの読書活動の取り組みの様子から判断する。		
		②	⑦			
		③	⑧			
		④	⑨			
		⑤	⑩			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	⑥	・（主体性） ・グループで活動するときなどに進んで取り組み、まとめていくことができる。 ・（実行力） ・実習時や課題が出されたとき、前向きに考え、決められた時間の中で確実にやり遂げることができる。 ・（課題発見力） ・読書会において、内容を的確に把握し表現することができる。 ・（創造力） ・意見発表や成果物作成では自信を持って自分らしきものを出することができる。 ・（発信力） ・発表時、聞き取りやすい声の大きさ、話すスピードに気を付け、的確に伝えることができる。 ・（傾聴力） ・講義のときやグループディスカッションのとき、相手をよくみて頷いたり、メモをとるなどして、反応をしながら聞くことができる。 ・（規律性） ・遅刻・無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出する。	
			②	⑦		
			③	⑧		
			④	⑨		
			⑤	⑩		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）評価 ① 講義では、予習・復習をしっかりと行ってから受講し、授業で予習・復習をいかした発言ができています。 ② 読書会などの活動では積極的に取り組み、その姿勢が他の活動をリードしている。 ③ グループ活動では、積極的に活動し、グループ全体の学びの向上に貢献している。 ④ 小テストでは問われている内容を把握し、ポイントを押さえて9割以答えることができている。 A（優）評価 ① 講義では、予習・復習をしっかりと行ってから受講する姿勢ができています。 ② 読書会などの活動では積極的に取り組んでいる。 ③ グループ活動では、積極的に発言をしている。 ④ 小テストでは問われている内容を把握し、ポイントを押さえて8割以答えることができている。	B（良）評価 ① 講義中の態度・発言より、予習・復習を行っていることがわかる。 ② 読書会などの活動では担当した役割を果たすことができる。 ③ グループ活動では、自分の考えを発言することができる。 ④ 小テストでは問われている内容を把握し、ポイントを押さえて7割以答えることができる。 C（可）評価 ① 課題として収集すべき子どもの本を、持ち寄って授業を受けることができる。 ② 読書会などの活動では担当した役割の内容を理解することができる。 ③ グループ活動では、他の活動を参考にして自分の活動に生かすことができる。 ④ 小テストでは問われている内容を把握し、ポイントを押さえて6割以答えることができている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	読書の意義と目的(オリエンテーション) 読書とはどのような行為か考え、今日的な意義、目的を理解する。 教科書の読書材を調査し、今後の読書活動について計画を立てる。	講義。 グループでの話し合い。	読書の意義について子どもの発達と関連させて述べるができる。 読書会で担当する作品を選ぶことができる。	(予習) 読書会で担当する作品を読む。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
2	児童生徒の読書環境 学校読書調査等から児童生徒の読書の現状を理解する。 読書会を行う。	講義。 読書活動。	学校読書調査から不読者の割合の傾向を読むことができる。	(予習) 国語教科書掲載の作者の本を読む。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	「子ども読書活動」の推進 「子どもの読書活動の推進に関する法律」など、国、市町村などの読書活動推進に関する施策について理解する。	講義。 読書活動。	「〇〇市子ども読書活動推進計画」の内容の特長を説明することができる。	(予習) 自分の住む地域の「子どもの読書活動推進計画」を調べる。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4	児童生徒の発達段階に応じた読書指導 児童生徒の読書能力の発達段階を学習指導要領より整理し、発達段階に応じた読書指導について理解を深める。	講義。 読書活動。	小学校中学年の重要性を説明できる。	(予習) 国語教科書掲載の作者の本を読む。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力
5	子どもの本の理解 (1) 初めて出会う本、幼年童話、児童文学などの本を集め、その特長を理解する。	講義。 グループディスカッション。	初めて出会う本、幼年童話、児童文学などの本を集めることができる。	(課題) 初めて出会う本、幼年童話、児童文学などのジャンルごとに数冊本を選んで授業に持ち寄る。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力
6	子どもの本の理解 (2) ノンフィクション、知識の本、科学読み物などの本を集め、その特長を理解する。	講義。 グループディスカッション。	ノンフィクション、知識の本、科学読み物などの本を集めることができる。	(課題) ノンフィクション、知識の本、科学読み物などの本をジャンルごとに数冊選んで授業に持ち寄る。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力
7	子どもの本の理解(3) YA(ヤングアダルト)、マンガなどの本を集め、それぞれの特長を理解する。子どもの本の内容や作者について小テストを行う。テスト後、口頭によるコメントでフィードバックを行う。	講義。 グループディスカッション。	YA(ヤングアダルト)、マンガなどの本を集めることができる。	(課題) YA(ヤングアダルト)、マンガなどの本をジャンルごとに数冊選んで授業に持ち寄る。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力
8	子どもの本の評価 子どもの本を評価する指標、規準を理解し、子どもの本のリスト、書評を読む。	講義。	どのような子どもの本が高く評価されているか、説明することができる。	(復習) 身近にある、評価の高い子どもの本を読む。	180	課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	児童生徒と本をつなぐ (1) 読み聞かせ、ストーリーテリング、パネルシアター、エプロンシアター、読書へのアニメーション、ブックトーク、ビブリオバトル、リテラチャー・サークルなどの読書活動の方法を知る。	講義。 動画視聴。	様々な読書活動の方法を説明することができる。	(復習) 様々な読書活動の実習に向けて、準備・練習をする。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	児童生徒と本をつなぐ (2) 読書活動の実習をする。	実習。 グループワーク。	グループ内で、自分が選んだ読書活動を実際に行うことができる。	(復習) 自分が行った読書活動を振り返り、課題を見つけて修正する。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	児童生徒と本をつなぐ (3) 読書活動を発表し相互評価する。 子どもと本をつなぐ方法について小テストを行う。テスト後、口頭によるコメントでフィードバックを行う。	講義。 グループワーク。	グループ内で行った、他の読書活動のよい点を挙げて評価することができる。	(復習) 自分が選んだ読書活動以外の活動について、その方法を振り返る。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力
12	個に応じた読書支援 読むことに困難がある児童生徒や外国にルーツのある児童生徒の読書を支援する方法やメディアを知る。	講義。	LLブック、点字図書、大活字本など、様々な言語の絵本などを集めることができる。	(課題) LLブック、点字図書、大活字本、様々な言語の絵本などを集めて、授業に持ち寄る。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
13	家庭・地域・公共図書館との連携 親子読書、家庭読書、地域読書などの実態について理解する。	講義。	「母と子の親子20分間読書」「家読」などの家庭読書活動や地域文庫活動を説明することができる。	(予習) 家庭読書活動や地域文庫活動を調査し、整理する。	180	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
14	読書指導における司書教諭と学校司書の連携 読書指導における司書教諭と学校司書のそれぞれの専門性を理解する。	講義。 グループディスカッション。	司書教諭と学校司書には、指導と資料収集というそれぞれの専門性があることを説明できる。	(復習) 児童生徒の学習支援において、学校司書の専門性について整理する。	180	実行力 創造力 傾聴力 規律性
15	読書指導の展望と課題 これからの読書指導の方法について国語科の授業のあり方と関連して考察する。	講義のあと、読書指導について小テストを行う。テスト後、口頭によるコメントでフィードバックを行う。	国語科の授業を通して読書のスキルを向上させていく方法を理解することができる。	(予習) 小テストにむけ、これまでに学んできたことを整理する。	180	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力